



踏み出せ! 未来の農家へ!

# Be Farmer



WAKAYAMA  
ARIDA

日本一を誇る資源があります

# 有田市の農業

有田といえば「有田みかん」  
折り紙付きのトップブランド

海岸沿いの山々や有田川流域の山々のほほ全てに広がるみかん畑<sup>はた</sup>。緑の山肌に輝くオレンジ色は、みかん王国有田の象徴です。独特の段々畑が太陽の光をいっぱい浴びて、甘くてジューシー、おいしさ満点の有田みかんが作られています。みかんは漢字で書くと「蜜柑」。有田みかんはその字のとおり蜜のような甘さが特徴で、消費者からの人気が高く、安定して市場に供給されています。恵まれた気候、農家の努力、出荷時の厳しい品質管理が全国トップシェアのブランドを生み出しています。



# 400年以上

## みかん農業の歴史

1574年(天正2年)伊藤孫右衛門が肥後八代(熊本県)よりみかんの木を持ち込み、植えたのが始まり。現在も植え継がれています。(有力説)

## 特徴のあるみかん畑

山の急斜面、畑が崩れないように保護している石垣は美しい景観も創り出しています。今でも江戸時代の石垣が残っているところもあります。



## 最適な気候

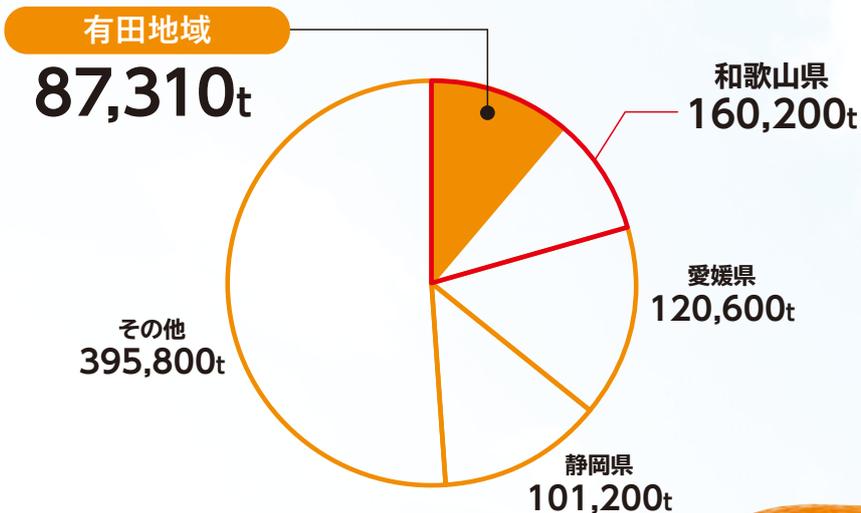
年平均気温が16度と温暖で、年平均降水量は1,600ミリ程度。冬の日照時間が長く、夏から秋の降水量が多すぎないのが特徴。おいしいみかんの栽培に適しています。



# 1位

## 全国シェア率

現在、みかんの収穫量は約78万トン。そのうち有田地域では約9万トンあります。全国の約1割という収穫量は日本一を誇ります。10個に1個は有田生まれなのです。  
(総務省「平成27年果樹生産出荷統計」より)



## 10個に1個は有田みかん (全国 777,800t)

### 温州みかんの収穫量

「温州」は「おんしゅう」ではなく「うんしゅう」といいます。有田市では温州みかんの栽培が多く、他の品種から群を抜いています。(市町村別統計検討協議会「平成27年度市町村別統計」より)

# 25,900t



### 農家人口

農家人口は3,167人で農家数は964戸。そのうちみかんを扱っている農家は932戸となっています。  
(平成27年農林業センサスより)

# 3,167人

## 600~700個

### 1本の木から 採れるみかんの数

みかんの木は、成長して20年~30年位が最も多く実をつけます。収穫の目標は1本の木からおよそ60~70キロ。みかん1個100グラムとすれば600個~700個の計算です。



## 2 足腰に自信あり

収穫時期にはみかんでコンテナが一杯に。それをつぎ上げて軽トラへ。この作業を何度も繰り返すので足腰も強くなる…かも。



## 1 みかんはいつでも食べ放題!

だからといって、農家にとっては大切な商品なので食べまくったりはしません。農作業に疲れた時は、有田みかんの甘さがたまらなくおいしいのです。



## 3 高級車も夢じゃない!

農家を営んで儲けている人もいます。よい作物を育て、信頼され、稼ぎの多い販路を築く工夫や営業力を養えば、高級車も夢ではありません。

みかん  
農家って  
けっこう  
アリかも  
な話

## 4 すばらしい景色を一人じめ

山の急斜面に段々畑が広がり、見下ろすと湾のように見える家並みとゆるやかな有田川。その向こうには紀伊水道。天气がよければ兵庫県や徳島県を望めます。



## 5 動物王国

みかん畑にはイノシシやモグラなど野生の動物が多くやってきます。まさに動物王国。動物たちも甘いみかんが大好物?!



## 6 金髪、ひげ、アフロもOK

特に個人農家の場合、会社勤めをするわけではないので、髪型や服装は自由です。最近では作業着や長靴もお洒落なものが出ているようです。



## 7 日本一に誇り

やっぱり仕事は誇りをもってするのがイチバン。土づくりから収穫まで、日本一のみかんを作ろうと情熱を注ぎ、農家は仕事に励んでいます。

## 8 美肌ばっかり

みかんはビタミンCが豊富。この成分は皮膚の細胞の働きを正常に保つ働きがあり、すなわち「美肌効果が期待できる!」ということなのです。





選別は一果一果手に取り、まごころを込めて。収穫した後の大切な時間です。

# みかんで結ばれる 千のゆかりを 大切に

**みかんの栽培で大切にしていることは？**

(昌司さん) 自分の子どもを育てるような気持ちでみかんを育てています。あまり世話を焼き過ぎないように、かと言ってほったらかしにもせずに、生き物として接しています。みかんを一言で表すと娘ですね。なかなか言うことを聞いてくれませんが。

**夫婦二人三脚で良かったなと思うこと**

(千穂さん) 社員の場合、朝送り出してから帰ってくるまで顔を合わせないと思います。この仕事の場合お昼は一緒にご飯を食べるので話す機会が多いですね。子どものことやお互いのことをしっかり話せます。



**「千のゆかり縁」について**

(昌司さん) 僕は農家に生まれたわけではありません。でもこうやってご縁があり、有田へ来ました。そしてみかん農家になりました。みかんのお世話をできるといえるのは、いろんな方のアドバイスやご縁があったからだと思っています。あと、「千田」という地域の名前、「千穂」という妻の名前…多くの人



学校帰りの子どもと一緒に。家族で過ごせる時間が多く、忙しい時期には子どもが作業を手伝ってくれます。

とのご縁を大切にしたいという思いがあります。自分の育てたみかんが誰かと誰かを結ぶ、そのきっかけになってほしいですね。

**就農をめざす若い人へアドバイス**

(千穂さん) 有田は「人」に恵まれています。困った時は、たくさんの人との繋がりが必ず助けてくれると思います。(昌司さん) 「一人でやろうとしない」ことです。有田の人・空気よき・自然のすばらしさが支えてくれますよ。

岡庄みかん畑  
岩崎昌司さん  
岩崎千穂さん

昌司さんは大阪府伊丹市出身。千穂さんの実家がみかん農家で、その継承のために有田へ。「やってみよう!」というチャレンジ精神で就農しました。





# 農業の現場から



Interview ②

仕事でやりがいを感じることは？

やっぱり収穫の時に強く感じますね。一年間がんばってきたよかったです。あと、販売でお客様と接する時。みかんジュースをおすすめして「おいしい〜！」と言ってくださると、本当にうれしいです。

一番つらいことは？

夏の薬剤散布！ 真夏に全身カッパ

もっと多くの人に  
有田みかんを伝えたい



みかんの生産から共同選果、農産加工、出荷販売など、企業なら様々な部門があるのも魅力。6次産業を経営の柱に展開しています。

…暑すぎてつらいです。だからこそ、その後の収穫が喜びもひとしおなんですよね。

収穫している時に思うこと

「ここのみかんはきれいやなあ」とか「ここはあの時に葉がかかってなかったから汚くなったのかなあ」とか、みかんを採りながら自分の一年間の作業を振り返ります。「来年は、ここはもっといい実が採れたらいいなあ」とか、考



株式会社早和果樹園  
生産部  
岩倉舞子さん

大阪府岸和田市出身。就職活動中に企業の合同説明会で早和果樹園と出会い、入社。生産部では畑での作業が主で、栽培から収穫、管理までを行っています。



「美味しいみかんづくり」を共にする仲間たちと。みかんの味にとことんこだわり、品質を追求しています。



えながら採っています。

将来の夢を教えてください

もっと栽培に関わっていききたいし、もっと多くの人に有田みかんを知ってもらいたい。販売の際はみかんの作り方なども伝えたいと思っています。あと、加工にも携わっていききたいです。収穫後、加工品になっていく工程を知れば、より深くみかんのことを理解できると思っています。

有田のいいところ、好きなところ

人のあたたかみをとっても感じるところ。知らない人でもあいさつしてくれるし、みんなやさしいです。山だけでなく海もあって、みかんはもちろん魚もおいしいところかな。みかんの季節、山の風景が変わっていくところも素敵です。花が咲くと一面真っ白に。それからだんだんオレンジ色に染まっていくのは壮観です。町中のみかんの香りがあふれて季節を感じる。いいまちだなと思いますよ。



春～夏

②薬をまく



薬をまいて  
害虫や病害を防ぎます  
暑い中でも  
全身カッパです

新しい品種や  
良い品種に  
植え替えます

春

①苗木植え



あたたかくなってくると  
あっという間に雑草が生えます  
草刈りもおいしいみかん作りに  
大切なことです

春～夏

③草刈り



乾燥を防ぐため  
山肌にスプリンクラー  
有田地方ならではの  
風景です

夏～秋

⑤摘果する



着き過ぎた  
果実を減らし  
大きさをそろえます

春～夏

④水やり



の  
1年

春と秋

### ⑦肥料をやる



果実が大きくなると  
木や果実の生長を  
促すために  
養分を与えます

味が濃くなるように  
日当たりを良くし、  
水通りをなくして  
ストレスを与えます



夏～秋

### ⑥シートをしく



一つずつ  
丁寧に  
収穫します

いよいよ収穫  
コンテナに入れて運びます  
急な斜面では  
モノレールが活躍します



# 農家

現場潜入レポート

冬

### ⑨出荷する



選果場へ持ち寄り  
秀・優・良などの等級  
L・M・Sなどの  
階級に分けて出荷します



秋～冬

### ⑧収穫する

地域のつながりが  
みかん作りに  
活かされています



# 農業の現場から



Interview ③

**就農してみても感じることは？**

(能章さん) サラリーマンの頃は、「こうすればこうなる」という仕事の答えを知っていました。でも農業は違う。天気や環境で大きく結果が変わってくるんです。収穫してみないと結果がわからない。そこに難しさを感じています。

**こだわりや大切にしていること**

(能章さん) できるだけ使用する農薬を減らし、安全安心でおいしいみかんを提供できるようにと思っています。

**最も喜びを感じる時は？**

(能章さん) 販売をしている時に「おいしかったよ」の言葉が聞けることです。消費者の方の顔が見える販売をこれからも続けたいですね。

**夫婦二人三脚の農業はどうですか？**

(珠微さん) 農家は、水回りの作業や土を掘る作業などもあり、(主人が)頼もしいなと思います。ただ一日中一緒に喧嘩した後はしんどいですね(笑)



**有田はどんなところ？**

(能章さん) 人のよさを感じます。おかずを作りすぎたからと持ってきてくださった。昔ながらの地域のよさです。お祭りもあって、地域の人々と盛り上がった。助け合ったり。古き良き伝統が残っているんだと感じます。

(珠微さん) 気候がさわやかで人も明るく、自然も豊か。そんな環境の中で子育てできることもいいなと思います。

**就農をめざす若い人へアドバイスを**

(能章さん) サラリーマンと違い、農家は自営業。自分がやらなければ収入がありません。やればやるだけ成果があることを信じてがんばってほしいですね。



よしあき  
酒井能章さん  
たまみ  
酒井珠微さん

兵庫県西宮市出身。結婚後、サラリーマンからみかん農家へ。「おいしかったよ」の言葉がうれしくて、消費者の顔が見える販売をめざしています。

# 農業の現場から



Interview ④

製造部での仕事の内容は？

ジュースの製造ラインを中心に、ジュレの充填など、製造全般に関わっています。黙々と仕事をするのが好きというところもあって、今の部署への配属を希望しました。

やりがいを感じるのはどんな時？

ミスすることなく、スムーズに仕事が進んだ時はやりがいを感じます。それと、サービスイリアなど、旅行先のお店で当社の製品が並んでいるのを見るとうれしいですね。並び方を整理しようと思わず手を伸ばしています(笑)

休みの日はどんなことを？

家を立てようと思っていて、今は住宅メーカーを回ることが多いです。動物園に行ったり、旅行や温泉もよく行ったりで、リフレッシュしています。

大好きな有田みかんで  
ふるさとを盛り上げたい





## 将来の目標は？

「製造のことなら誰にも負けやん」というような、みんなを引っ張っていきけるような人になりたいです。新しい商品づくりにも興味があります。ひらめいたことはメモを取るようにして、商品開発の方に提案するようにしています。それから、もっともっと多くの人に有田のみかんのおいしさを知ってもらいたい。生果として選ばれたみかんだけでなく、ジュースになるものもおいしいんだということとを製造の仕事を通して伝えていきたいと思っています。

## 有田の好きなおところは？

みかんの山が好きです。子どもの頃から親しんできた環境がやはり好きですね。自然の豊かさや水のよさに恵まれたこのまちで、みかんのことをアピールしていきたい。大好きなみかんを活用して私たちのような20代、30代が中心となって盛り上げていきたいです。



業務では慣れていないことも多いので、毎日いろんな人に聞きながら、一つひとつ覚えていくことが大切。時には社長から直接教わることもあります。



株式会社伊藤農園  
製造部

### 上野山尚樹さん

子どもの頃からみかんが好き。そして有田が好き。市外で働いたこともあります。みかんに携わる、有田に根付く仕事に就き、毎日が充実しています。

# 有田市へのアクセス



## ▶ 大阪より車で



## ▶ 名古屋より車で



## ▶ 白浜方面より車で



## ▶ 大阪方面より電車で



# Be Farmer

平成29年3月発行

有田市 〒649-0392 和歌山県有田市箕島50番地 TEL0737-83-1111  
<http://www.city.arida.lg.jp>

